

橋をめぐって

(東松山市を流れる川に

架かる橋)

東松山市 きらめき市民大学

第 18 期 歴史・郷土学部 課題研究 B 班



B 班メンバー紹介

リーダー	高橋 勉	サブ・リーダー	清水 茂
会計	長谷部 道恵	書記	長島 悦子
編集・校正	長谷部 昌司	書記	桜井 陸乎
編集・校正	落合 初男	編集・校正	中澤 のり子

目次

- 第1章 はじめに
- 第2章 活動記録
- 第3章 橋の起源
- 第4章 代表的な橋の種類
- 第5章 東松山市を流れる川に架かる橋
- 第6章 都幾川に架かる橋の昔を偲ばせる画像
- 第7章 川に架かる橋の名前の由来
- 第8章 参考資料
- 第9章 研究をおえて

第1章 はじめに

(1) テーマ選定理由

東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、市の中央を、都幾川・市野川・滑川をはじめとする多くの川が近隣の市町村から流れ込み、市内を横切っています。また越辺川や市野川などの大きな川が近隣市町村との境となっていて接しています。多くの橋が架かり、古代から人々が住み、川からの恩恵を受けながら、生活が営まれ宿場町として発展してきた東松山市、そこには、長い歴史があります。

日本語の「橋」という言葉は、道のはしに架けるものから由来しているとされています。橋梁（きょうりょう）とは、谷などの地面やより低い位置を通る道路・鉄道路線、川・湖沼・海といった水面などを跨ぐ形で、高い場所に設けられる橋です。今では、日々の通勤・通学や買い物等で何気なく、通っている橋、いつ、どこで、どのようにして架けられたのでしょうか。東松山市を流れる川に架かる橋について、その由来等を検証しました。

(2) 活動方針

- ① 全員が楽しみながら活動する。
- ② 友好を深める。
- ③ できるだけ現地に足を運んで調査する。



第2章 活動記録

活動日	活動内容
2月6日	グループ編成、テーマ検討
2月13日	テーマ選定
2月20日	テーマ選定
3月5日	役割分担、テーマ決定、市内の道路橋について資料収集調査
3月12日	調査内容検討と分担、今後のスケジュール検討
3月13日	川を跨ぐ国道、県道の橋を調査
3月19日	滑川の土手沿いに咲く桜を満喫しながら川を跨ぐ橋を散策
3月26日	市野川の土手沿いに咲く桜を満喫しながら川を跨ぐ橋を散策
7月2日	進捗状況の確認、今後のスケジュール検討
8月6日	進捗状況の確認、今後のスケジュール検討
9月10日	角川の川堤を歩いて川を跨ぐ橋を調査
9月15日	都幾川の川堤を歩いて川を跨ぐ橋を調査
9月17日	構造・形式ごとの橋の調査
9月30日	島田橋を中心に越辺川、九十九川周辺を調査
10月8日	進捗状況の確認、今後のスケジュール検討
10月23日	進捗状況の確認、今後のスケジュール検討
10月31日	新江川の川堤を歩いて川を跨ぐ橋を調査
11月12日	本文内容について全員で点検実施
11月19日	課題研究本文完成

桜の花が満開の市野川の堤をゆっくりと歩いて自然を満喫しながら天神橋・一本松橋・柳瀬橋・市松橋・市野川橋・弁天橋などを散策の様子。

(下の写真)



第3章 橋の起源

人が川を渡るのに、最初は水の中を歩くか泳いで渡っていたことでしょう。対岸へ渡るのが頻繁になればなるほど、より簡単に早く渡りたいと考えるのは当然のことです。たまたま都合よく向こう岸へ倒れた木があれば、その上を歩けることに気付いたことでしょう。自然「丸木（丸太）橋」の誕生です。丸太が都合よく対岸に倒れている場所を探すより、自ら木を切り倒して小川に渡すことに気付くまで、どれだけの年月を要したのでしょうか。丸太では歩きにくいので、木を割って平たくしたり、川幅が広くて1本の木だけでは足りない場合は、数本の木を次々と渡すこともあったでしょう。更には、間隔を開けた2本の長い丸太の上に板を横置きに並べ、幅の広い橋へと発展したのではないのでしょうか。



丸木橋

川を歩いて渡るには浅瀬しかありません。浅瀬に石があれば、その上を渡れば水に濡れなくていいことを知ります。都合よく石がない時、自分で石を並べればいいことにも気づいたことでしょう。これが石橋（いわばし、飛び石橋）の誕生でしょう。その後、歩きやすくする為に、石と石の間に長い平たい石を渡して、石桁橋が誕生したのではないのでしょうか。石桁橋では、都合のいい長さの石が多量に必要となります。小さな石でより長い径間（スパン）の橋を目指して、石造アーチ橋の誕生となります。自然石を積み上げて橋脚を築いたり、杭を打ち込んで橋脚にしたりした事も考えられています。なお、日本語の「橋」という言葉は、道のはしに架けるものから由来しているとされています。



飛び石橋

人は水の無いところでは生きていけません。水は川。チグリス、ユーフラテス川流域のメソポタミアをはじめとする世界4大文明の発祥地も全て川のほとり。しかし、川は往来の妨げにもなります。渡るためには舟や橋が必要です。文明が進み交流範囲が広がるにつれ、対岸へ渡る必要性や頻度も高くなり、短時間に行き来できる「橋」の必要性が増していきます。



沈み橋

古代の橋

紀元前 4000 年頃のメソポタミア文明では石造アーチ橋が架けられています。アーチ橋の架橋技術は、古代メソポタミア地方で発祥した技術が、東西に伝播して西洋と東洋それぞれ独自に発展したとする研究が発表されています。ローマ時代に道路網の整備に伴い各地に橋が架けられ、架橋技術は大きく進歩しました。日本での記録に残っている最古の橋は、『日本書紀』によると景行天皇の時代に現在の大牟田市にあった「御木のさ小橋」（みきのさおはし）で、巨大な倒木による丸木橋とされています。人工の橋では 324 年に現在の大阪市に猪甘津橋（いかいつのはし）が架けられたのが最古とされ、624 年に道昭が京都の宇治川に宇治橋を、726 年には行基が山崎橋を架けるなど古くは僧侶が橋を架けたことが知られています。これは僧侶が遣隋使や遣唐使として中国に渡り技術を学んで土木事業を指導したことによるものです。



近世日本の橋

律令制（りつりょうせい）の弛緩（しほん）とともに交通路も衰退し、橋の整備も資力や技術に乏しい現地に委ねられたため、架橋技術は発展しませんでした。更に治水技術の未熟さからしばしば発生した雪解けや大雨に由来する増水にも弱く、船橋のような仮橋や渡し船による代替で間に合わされるケースが多かったようです。こうした傾向は江戸時代末期まで続き、江戸時代に多くの大河川に架橋がされなかったのも、実際には軍事的な理由とともに技術的要因による部分も大きかったと思われます。安土桃山時代から江戸時代に入ると都市部や街道においてようやく橋の整備が進められるようになりました。江戸時代の大都市には幕府が管理した橋と町人が管理して一部においては渡橋賃を取った橋が存在し、江戸では「御入用橋」「町橋」、大阪では「公儀橋」「町人橋」と称されました。また、江戸時代以前の日本では木造の橋がほとんどでしたが、九州や琉球では大陸文化の影響を受け、明出身の僧侶如定による長崎の眼鏡橋の造営をはじめとする石造りの橋が多く作られるようになり、江戸時代末期に作られた肥後国の通潤橋は同地方の石工らによって、様々な工夫がされたことで知られています。また、石積みの橋桁とアーチを組み合わせた周防国岩国の錦帯橋など、中小河川における架橋技術の発展を示す例が各地で見られるようになりました。



産業革命後の橋

18世紀末期から19世紀にかけて、産業改革によって生産量が増えた鉄を用いた橋が出現。鉄の量産により橋梁技術が飛躍的に向上し、橋脚と橋脚の間隔を示す支間長（スパン）が大幅に伸びて長大橋が建設されるようになり、初めは、銑鉄を用いた全長30mの橋がイギリスで架けられ、製鉄技術の改良により鋼を用いた橋が誕生しました。1873年には、鉄筋コンクリートを用いた橋がフランスで初めて架けられ、その後全世界に普及しました。日本で最初の鉄橋は、1868年（慶応4年）に長崎の眼鏡橋が架かる中島川の下流にオランダ人技師の協力を得て架けられたくろがね橋で、純日本国産の鉄橋第1号は1876年（明治11年）に東京の楓川に架けられた弾正橋で、鋼橋としては、1888年（明治21年）に完成した東海道本線の天竜川橋梁が日本初です。さらに鉄道網の進展、自動車の普及と交通量の変化に合わせて重い活荷重に耐えられる橋が要求されるようになって、1900年代に入ってから鉄筋コンクリート製の橋も造られるようになりました。また、経済の急速な発展に伴い、経済的に短い工期が重要視されるようになりました。



現代の橋

日本全国には約72万6千の橋があり、橋に求められる要件は、橋に掛かる荷重を支えること及び荷重が掛かっても変形が大きくなり過ぎないことで、特に地震や台風の多い日本では、地震発生時及び台風通過時の安全性を確保することが重要になりました。また、橋には、実用性だけでなく、デザイン性も求められ、大きく目立つ橋はその地域のシンボルになりうるため、構造物自体のデザイン性や周囲と調和するデザインを有していることが望まれました。

日本の主な橋（国の重要文化財）

橋の名称	日本橋	にほんはし
------	-----	-------



日本橋川に架かる石作りの橋、現在の橋梁は1911年に完成し、国の重要文化財、道路交通網の始点

橋の名称	萬代橋	ばんだいはし
------	-----	--------



信濃川に架かる国道の橋、1929年に架け替えられ、現在の橋は、3代目、日本橋に次いで2番目の文化財指定

第4章 代表的な橋の種類

橋の形式は、大まかに下記のように分類することができます。橋を架けようとする時にはいろいろな要素から検討が行われ諸要件に適した形式が選択されます。そして、架橋位置周辺の風景、或いは背景となる街並みや近接する橋との競合具合など、景観にも配慮した検討が重ねられ、そこに機能的で個性を持った「橋景色」が生まれます。

第1節 代表的な橋の形式別種類

(1) 桁橋

此の橋の構造は市内では61か所で施工されています。

2つあるいは3つ以上の支点上に水平に桁を架け、その上あるいは内部を通行する橋。最も古くからある一般的な形式。桁には曲げモーメントにより主桁内部の上側に圧縮応力が発生、下側に引張応力が発生します。一般に荷重を主として負担する主桁と通行路を造る床板は異なる部材ですが、比較的小規模のコンクリート橋では床板が主桁としての役割も果たす床板版（スラブ桁橋）もあります。

- 施工された桁橋の構造と景観



中橋

- 代表的な橋の所在地等を紹介します。

➤ 桁橋（24か所）

（4-11号橋）下唐子字塚原 1092番地先（PC橋）2m永久橋

（4-20号橋）神戸字天王 897番地先（PC橋）2.4m永久橋

➤ 桁橋H（2か所）

主桁に圧延H形鋼を用いた桁橋で支間長 25m程度までの小規模な単純桁橋に多く用いられます。

（中橋）野田字前原 1254番5地先（PC橋）25.7m永久橋

（3-11号橋）松山字諏訪下 2750番1地先（鋼橋）48.7m永久橋

➤ 桁橋T（35か所）

主桁を下フランジのないストレート断面とすることで鉄筋加工や型枠加工を簡素化し、施工性の向上を図っています。一方で、転倒防止を図ることに留意する必要があります。支間長 25m以上の主桁の製作が可能です。

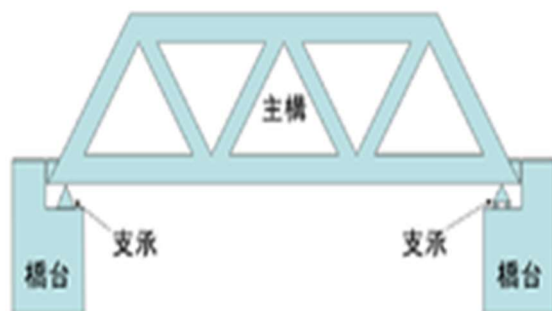
（下橋）野田字晴田 949番1地先（PC橋）30.19m永久橋

（一本松橋）松山字諏訪下 2842番3地先（PC橋）42.96m永久橋

(2) トラス橋

此の橋の構造は市内では下記の所在地で施工されています。
棒状の部材を三角形に組み合わせ交点（各点と呼ぶ）をピンで結ぶトラス構造を用いた橋。鉄道橋に多い形です。

- 施工されたトラス橋の構造と景観



板橋

- 橋が架かる所在地等を紹介します
(板橋) 毛塚字栗崎 750 番 1 地先 (PC 橋) 29.45m 永久橋

(3) ラーメン橋

此の橋の構造は市内では下記の 5 か所で施工されています。
橋脚と主桁が剛に結合された骨組（ラーメン）構造を用いた橋。ラーメンはドイツ語 Rahmen（鋼筋骨組）に由来します。耐震性の高い構造で高速道路を跨ぐなどごく一部で見られる形です。

- 施工されたラーメン橋の構造と景観



葛袋 2 号橋

- 橋が架かる所在地等を紹介します。
(4—18 号橋) 神戸字永伝 723 番 3 地先 (PC 橋) 2m 永久橋
(4—21 号橋) 神戸字天王 889 番 1 地先 (PC 橋) 2m 永久橋
(8—25 号橋) 下押垂字内合 11 番地先 (PC 橋) 2.38m 永久橋
(8—26 号橋) 下押垂字権現堂 173 番 1 地先 (PC 橋) 2.3m 永久橋
(葛袋 2 号橋) 葛袋字月並 1334 番 2 地先 (関越・PC 橋) 52.6m 永久橋

(4) アーチ橋

此の橋の構造は市内では下記の所在地で施工されています。
上向きの弧（アーチ）を用いた橋でアーチ（アーチリブ）には大きな圧縮力と比較的小さな曲げモーメントが作用します。コンクリートや鋼あるいは木のほかに、近代以前では石がよく用いられていました。深い渓谷など橋脚を造ることが困難な場所で採用されることが多い形式です。

- 施工されたアーチ橋の構造と景観



- 橋が架かる所在地等を紹介します。

(物見公園橋) 岩殿字児沢 241 番 9 地先 (鋼橋) 40m 永久橋

物見公園橋

(5) 床版橋

此の橋の構造は市内では 136 か所で施工されています。

主構造に鉄筋コンクリートや PC 桁で作った床版（スラブ）を使った橋梁。小規模な橋梁や桁高の低いことが要求される橋梁に使われます。

- 施工された床版橋の景観
- 代表的な橋が架かる所在地等を紹介します。

(天神橋) 古凍字友田 1131 番 2 地先 (PC 橋) 37.5m 永久橋

(稲荷橋) 下唐子字上川原 2024 番地先 (PC 橋) 65.253m 永久橋

(小井戸橋) 岩殿字油免 1000 番 1 地先 (PC 橋) 12.818m 永久橋



稲荷橋

(6) 溝橋（ボックスカルバート）

此の橋の構造は市内では 67 か所で施工されています。

道路の下を横断する道路や水路の空間を確保するために盛土或いは地盤内に設けられる構造物で橋長 2m 以上かつ土被り（どかぶり）1m 未満のボックスカルバートのことを言います。

- 施工された溝橋（ボックスカルバート）の景観
- 代表的な橋が架かる所在地等を紹介します。

(馬場橋) 殿山町 26 番 1 先 (PC 橋) 10.0m 永久橋

(5-52 号橋) 岩殿字金谷 141 番 1 地先 (PC 橋) 3.3m 永久橋

(7-2 号線) 御茶山町 12 番地先 (PC 橋) 3m 永久橋



馬場橋

第2節 通過交通による機能別分類

橋はその果たす機能により様々な名称が用いられています。大きな区分として通過交通による分類、すなわちその橋が何を渡すものであるかが挙げられます。人車の交通に限らず物体の輸送用として、専用・兼用で用いられる事も多くあります。橋の下が水面でない物を、陸橋と呼んでいます。

(1) 陸上交通

一般的な橋として、道路交通（自動車）を渡す道路橋、人を渡す人道橋（歩道橋）、列車を渡す鉄道橋などがあり、さらに何を渡る橋であるかによって下記の表に示す呼称が使い分けられます。なお鉄道橋は鉄橋と略される場合もありますが、鉄または鋼を用いた橋と混同されることがあります。道路と鉄道の双方を渡す橋もあり、鉄道道路併用橋（併用橋）と呼ばれます。

橋を用いなくても道が引ける場所にあえて橋を設けている物を高架橋と言います。これは道への不要な侵入や接触を避けるためや、景観のために設けるものです。（立体交差）

用途による橋の呼称

通過交通 および総称	道路	歩道	鉄道
	ど ^う ろ ^ぼ し 道路橋	じん ^ど う ^ぼ し 人道橋 (歩道橋)	て ^つ ど ^う ぼ ^し 鉄道橋
川・谷・海を渡る	は ^し き ^{ょう} り ^{ょう} 橋・橋梁	は ^し じん ^ど う ^ぼ し 橋・人道橋	き ^{ょう} り ^{ょう} 橋梁
道路を渡る	こ ^ど う ^き ょう 跨道橋	横断歩道橋	か ^ど う ^は し 架道橋
鉄道を渡る	こ ^{せん} き ^{ょう} 跨線橋	こ ^{せん} き ^{ょう} 跨線橋	せん ^る ぼ ^し 線路橋

(2) 水上交通

水路橋のうち、特に運河を立体交差させて河川舟運に用いる橋。ヨーロッパで多く見られます。

(3) 輸送用

古代ローマの水道橋など、水利目的の水路橋が古くから建設、利用されてきました。現在は主に上水道用の水道橋が用いられています。その他、各種パイプライン輸送用の橋としてガス導管橋や電線路専用橋として多摩川専用橋などがあります。

(4) もみじ谷に架かる道路橋（市内唯一のアーチ橋）

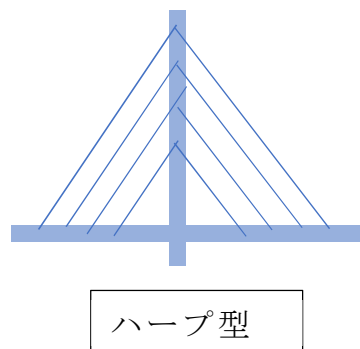
平成3（1991）年に完成した橋長40mのアーチ橋で、物見山の北端のもみじ谷に架かる道路橋です。アーチ橋は上向きに弧を描く曲がりをつけたアーチ（梁）を主な構造とする橋です。また「物見公園橋」は路面がアーチの上にある上路式の橋です。もみじ谷から市内唯一のアーチ橋である「物見公園橋」を見上げながら、紅葉等を楽しんでみてはいかがでしょうか。広報2020.10月号引用



(5) 千年谷公園内に架かる歩行者専用橋（市内唯一の斜張橋）

「山の辺橋」は昭和60（1985）年に、比企丘陵の自然の地形を利用してつくられた千年谷公園内に松風台と旗立台を結ぶ「ひきのみち」に架けられた全長80メートルの歩行者専用橋です。主塔からケーブルを斜めに張り、桁を吊る方法の「斜張橋」と呼ばれる構造の橋です。「山の辺橋」は市内唯一の「斜張橋」です。「斜張橋」は斜めに張ったケーブルの張り方で3種類に分類されます。主塔から放射状に桁の各部を支える張り方の放射型、主塔のケーブル定着部を少しずつずらしていったケーブルの張り方のファン型、主塔のケーブル定着部が一定間隔でケーブルが平行に張られているハープ型です。その中でも景観の観点ではハープ型が最もすっきりしてきれいに見えやすいと言われていて「山の辺橋」もハープ型です。広報2020.9月号引用

「山の辺橋」は高坂ニュータウンの千年谷公園に架かる橋で春の桜や秋の紅葉はとてもきれいです。スリーデーマーチの昼食場所でもあり、美味しい豚汁を食べる人でいっぱいになります。



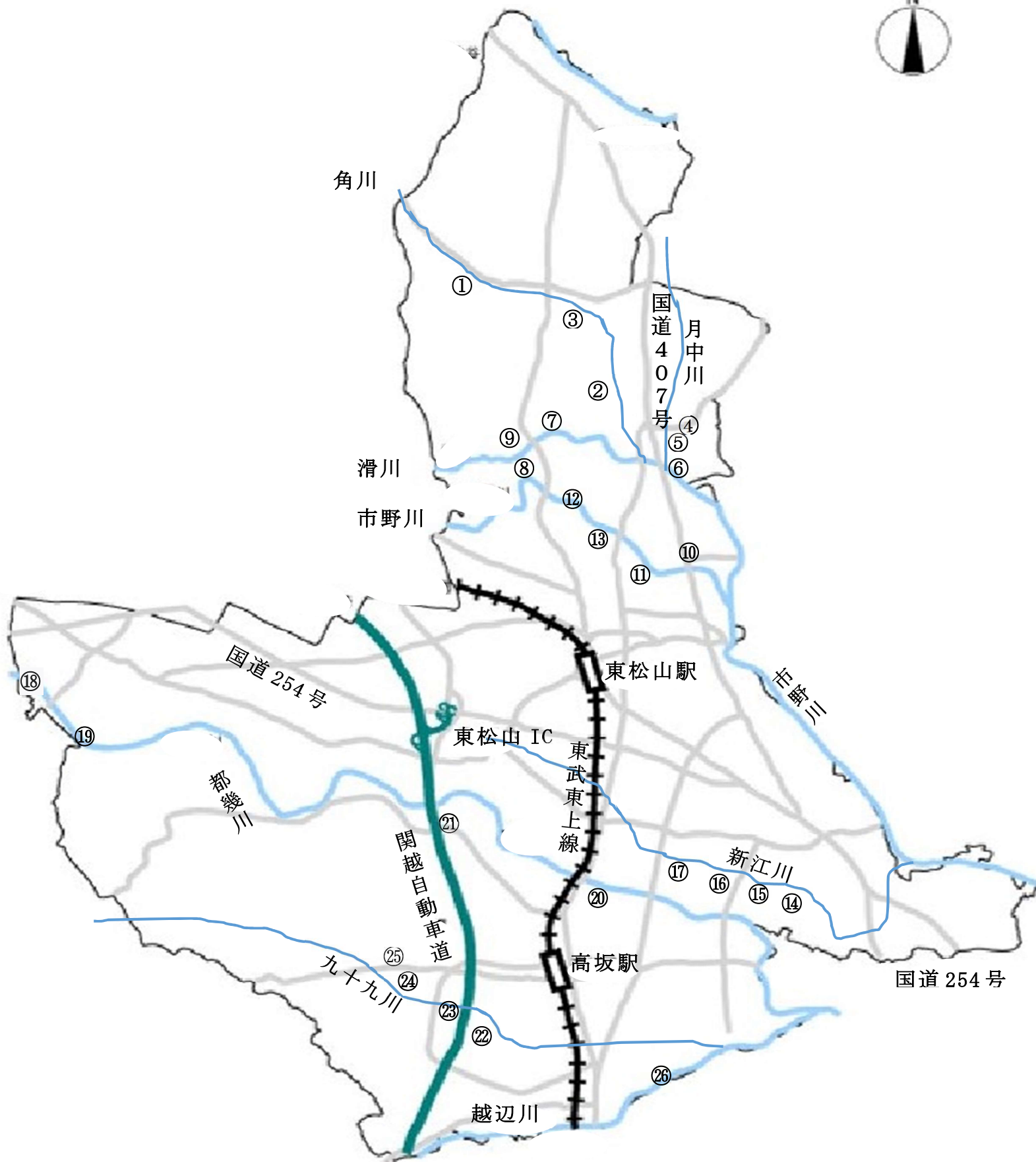
第5章 東松山市を流れる川に架かる橋

(1) 主な川に架かる特徴的な名称のついた橋

川の名称	橋梁名	呼び名	所在地起点側	構造
角川	①. 雷電橋	らいでんはし	大谷字扇谷	床版橋
	②. 龍元橋	りゅうげんはし	東平字下出	床版橋
	③. 藤山橋	ふじやまはし	大谷字腰塚	床版橋
月中川	④. 月中橋	げっちゅうはし	沢口町	溝橋
	⑤. 馬場橋	ばんばはし	殿山町	溝橋
	⑥. 砂田橋	すなだはし	沢口町	溝橋
滑川	⑦. 前川橋	まえかわはし	東平字滑川	桁橋
	⑧. 野田橋	のだはし	野田字晴田	桁橋 T 桁
	⑨. 下橋	しもはし	野田字晴田	桁橋 T 桁
市野川	⑩. 天神橋	てんじんはし	市の川字負田	床版橋
	⑪. 一本松橋	いっぽんまつはし	松山字諏訪下	桁橋 T 桁
	⑫. 市松橋	いちまつはし	松山字割鍋	桁橋 T 桁
	⑬. 築瀬橋	やなせはし	松山字加平上腐	桁橋 T 桁
新江川	⑭. 熊野橋	くまのはし	下野本字熊野	桁橋 T 桁
	⑮. 曲輪橋	くるわはし	下野本字熊野	桁橋 T 桁
	⑯. 中妻橋	なかづまはし	下野本字上根田	桁橋 T 桁
	⑰. 赤刈橋	あかかりはし	下野本字上根田	桁橋 T 桁
都幾川	⑱. 月田橋	つきたはし	上唐子	桁橋 T 桁
	⑲. 鞍掛橋	くらかけはし	神戸字大橋	床版橋
	⑳. 東松山橋	ひがしまつやまはし	高坂地区	桁橋 T 桁
	㉑. 唐子橋	からこはし	葛袋字矢来	桁橋箱桁
九十九川	㉒. 策坂大橋	ざるさかおおはし	毛塚字河原田	桁橋 T 桁
	㉓. 地藏橋	じぞうはし	岩殿字天神	桁橋 T 桁
	㉔. 平塚橋	ひらつかはし	岩殿字火上場	床版橋
	㉕. 小井戸橋	こいどはし	岩殿字油免	床版橋
越辺川	㉖. 島田橋	しまだはし	坂戸市大字島田	木橋

※橋の呼び方は、川が濁るとの謂れや、銘板の付いた親柱にも「〇〇はし」と使われていることから「〇〇ばし」ではなく「〇〇はし」と表記。

(2) 特徴的な名称のついた橋の架かる場所



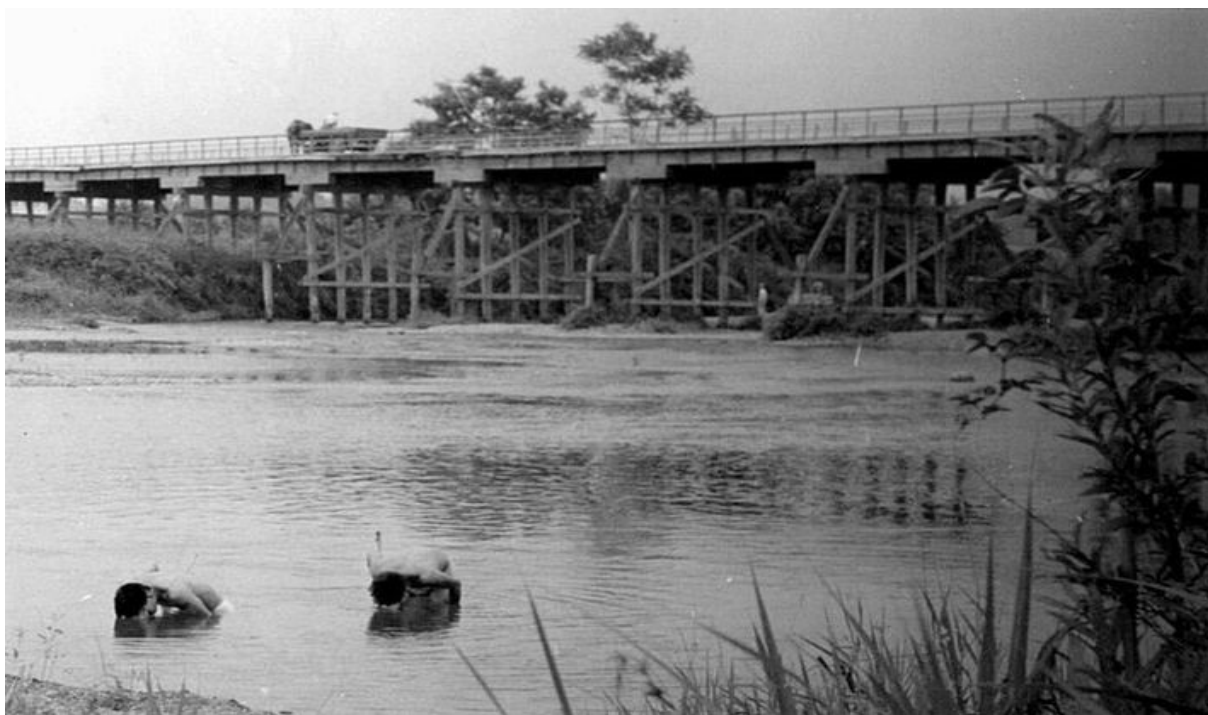
第6章 都幾川に架かる橋の昔を偲ばせる画像

(1) 昭和30年頃の唐子橋



木製ながら頑丈な構造の橋であったそうです。

(2) 川遊びをする子供たち手前に魚を銚でつく様子が写っています。



(3) 都幾川でまぶし（養蚕用具）を洗う（昭和 38 年）



(4) 東松山橋工事（昭和 38 年）



東松山市広報広聴課提供

東武東上線と並行して都幾川に架けられた。

第7章 川に架かる橋の名前の由来

(1) 角川に架かる橋

角川は延長 3.7 km、流域面積 7.0 km²の荒川水系の一級河川。源流(最上流)は東松山市大谷地区のため池であり、農業排水を集めながら県道 307 号線に沿って東へと流れ、東平地区に入ると流路を南へ変え、国道 407 号線に沿って流れて、最後は東松山市沢口町で滑川の左岸へ合流します。

①雷電橋

大谷の雷電山は九十九谷の奥にある高さ 93m の山です。山全体を神聖視していた時代があり、一の鳥居が雷電山の麓にありその近くにある小さな石橋を雷電橋といいます。

所在地起点側：大谷字扇谷 6035 番地先

構造：床版橋 RC 橋

※RC とは鉄筋コンクリートを用いた構造の略

橋長：2.5m



②龍元橋

東平幼稚園の西側にある橋で屋号が龍元家と呼ばれ、敷地内を角川が流れていたため屋号が橋の名前になったようです。

所在地起点側：東平字下出 1521 番地先

構造：床版橋 RC 橋

橋長：15.16m



③藤山橋

小字が藤山前で小字の一部を取って藤山橋と名付けられたようです。

所在地起点側：大谷字越塚 5775 番地先

構造：床版橋 RC 橋

橋長：14.7m



(2) 月中川に架かる橋

④ 月中橋

月中とは、吉見から流れてくる川が月中を半回りしたものが丁度三日月様の形をしていたことから、集落の小字名を月中として、そこに架かる橋なので月中橋と名付けられたようです。

所在地起点側：沢口町 33 番地先

構造：溝橋（ボックスカルバート）RC 橋

橋長：10.5m



⑤ 馬場橋（ばんばはし）

昔松山城の馬場だったことから馬場橋と名付けられたようです。

練習中の武士が落馬して亡くなったことを悼み、橋のたもとには、お塚さまという碑が建っています。正月には餅を供え供養しているそうです。

所在地起点側：殿山町 26 番 1 地先

構造：溝橋（ボックスカルバート）RC 橋

橋長：10m



(3) 滑川に架かる橋

⑦前川橋

車道と歩道橋が並行に設置され、歩道橋は、2016年5月に造られたものです。東平地区の前の方にある滑川に架かる橋なので、前川橋と名付けられたようです。

所在地起点側：東平字滑川 661 番 3 地先

構造：桁橋 RC 橋

橋長：14.49m

標示：2012 年



⑧野田橋

野田地区の大岡～材木町の間には町道が作られたもので比較的交通量の多い桁に設置してあります。

所在地起点側：野田字晴田

構造：桁橋 T 桁 RC 橋

橋長：30.0m



⑨下橋

野田地区には、下橋、中橋、上橋と3本の橋が架けられています。

下橋は河川改修により板橋から現在のような橋に架け替えられました。

所在地起点側：野田字晴田 949 番 1 地先

構造：桁橋 T 桁 RC 橋

橋長：30.19m



(4) 市野川に架かる橋

⑩天神橋

橋の北西には、菅原神社があり天神様が祀って有る事から名付けられたようです。

所在地起点側：市野川字負田 344 番地 2 地先

構造：床版橋 RC 橋

橋長：41.62m



⑪一本松橋

橋の南東には、松が一本植えられていることから、名付けられたようです。現在の松は、何代目か解りませんが、昔は大きな松があったようです。

所在地起点側：松山字諏訪下 2842 番 3 地先

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

※PC とは鉄筋コンクリート構造をプレストレス（圧縮応力）により補強した構造の略

橋長：42.96m



⑫市松橋

市野川地区と松山地区の両地区の頭を取って名付けられたようです。

所在地起点側：松山字割鍋 2095 番 2 地先

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：41m



(5) 新江川に架かる橋

新江川は延長 3.4 km、流域面積 10.8 km²の荒川水系の一級河川です。管理起点は東松山市下野本 1760 にあり、おおむね東へ向かって流れ、最後は東松山市古凍で市野川の右岸に合流します。源流部（最上流）は、関越自動車道の東松山インター付近であり、不動沼の南側付近から管理起点までの区間は、準用河川に指定されています。準用河川の区間はコンクリート製の水路で、幅は 2.0m、深さは 1.0m、見た目は農業排水路です。東武東上線を横断し比企広域消防本部の北側付近の川幅は 1.0m と極端に狭くなっています。東武東上線が開通したのは、大正時代で、その当時のままの川幅なのでしょう。東武東上線の橋梁も当時のままの煉瓦造りで、このあと国道 407 号線を横断します。東天神橋の付近では川幅は 10m に広がり、橋の周辺には護岸が施されています。曲輪集会所の南方付近から 1.3 km 下流の地点の北東端を市野川が流れ国道 254 号線が台地を縦断、さらに南には都幾川が流れています。



⑭熊野橋

熊野地区に架けられた為、字名がそのまま使われたようです。

所在起点側：下野本字熊野

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：26m



⑯中妻橋

中妻地区に架けられた為、地名がそのまま使われたようです。

所在起点側：下野本字上根田

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：23.1m



(6) 都幾川に架かる橋

都幾川は、埼玉県西部を流れる荒川水系の一級河川で、支流の槻川と共に入間川流域では最も北側を流れています。比企郡嵐山町で東秩父村を源流とする槻川と合流し、辺りは京都の嵐山の風景によく似ている事から「武蔵嵐山」と命名され嵐山溪谷と呼ばれています。比企郡川島町長楽で越辺川に合流します。

⑱月田橋

月田橋は、嵐山町と東松山市との境にある都幾川に架かる橋で、比較的広い河川敷を有し、釣り・川遊び・グラウンドゴルフなど、思い思いに川を楽しむ風景が見られます。

所在地起点側：嵐山町根岸

構造：桁橋 T 桁

橋長：200.08m

幅員：6.0m



⑲鞍掛橋

鞍掛橋周辺では、東松山市と埼玉県が一体となり川の遊び場が整備されています。「スリーデーマーチ」のコースの中でも人気のスポットになっています。鞍掛橋より国道 254 号方面に向かった近くには「原爆の囃」の丸木美術館があります。

所在地起点側：神戸字大橋 2710 番 2 地先

構造：床版橋 RC 橋

橋長：79.4m



⑳東松山橋

東松山市道 80 号の橋で、1963 年に開通した当時の主要地方道埼玉県道熊谷武蔵線の橋として建設されました。2005 年に欄干交換工事が行われ近代的になりました。

所在地起点側：高坂地内

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：272m

幅員：8.25m



(7) 九十九川に架かる橋

東松山市岩殿付近の高坂丘陵（岩殿丘陵）を水源とする、流路延長 6.0 km（内、埼玉県管理区間 5.6 km）の河川です。高坂台地を南東から次第に東へ向きを変えて流れながら東武東上線や国道 407 号をくぐり、東松山市正代付近で越辺川に合流しています。以前は越辺川に自然合流していましたが、合流点で水位の上がった越辺川の逆流によって水害が頻発していたことから 2011 年（平成 23 年）に九十九川水門が完成しました。流域は都幾川と越辺川にはさまれた場所に位置し、主に水田などの農地ですが、高坂ニュータウンなどの新興住宅地も見られます。

5 月 3 日初夏の日差しの中、九十九川に沿って歩きました。草花が咲き、チョウチョが舞い、空にはオオタカも見られ、ウグイスやホオジロの鳴き声を聞きながら越辺川との合流付近まで歩きました。



㊤ 笹坂大橋

川のすぐ上に樹木の生い茂る坂があり、そこを人が通ると笹が風に転がるような音がすることから、地元の人々は笹坂と呼ぶようになったようです。

所在地起点側：毛塚字河原田 157 番 2 地先

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：21.66m



㊤ 地藏橋

高坂並木通りの旧鎌倉街道との角に地藏が祀られていることから地藏橋と名付けられたようです。

所在起点側：岩殿字天神 112 番 4 地先

構造：桁橋 T 桁 PC 橋

橋長：15.2m



㊤ 平塚橋

平塚地区に架けられた為、地名が使われたようです

所在起点側：岩殿字上場 273 番地先

構造：床版橋 PC 橋

橋長：12.6m



第 8 章 参考資料

(1) ご指導・ご協力を頂いた方々

- ①. 東松山市河川課、東松山市観光協会
- ②. 埼玉県東松山県土整備事務所

(2) 参考文献

- ①. 目で見る東松山・比企 100 年
- ②. 東松山市政だより 昭和 38 年 4 月～昭和 39 年 3 月
- ③. 東松山広報 昭和 40 年 4 月～昭和 41 年 3 月
- ④. 東松山広報 昭和 53 年 4 月～昭和 54 年 3 月
- ⑤. 東松山広報 昭和 56 年 4 月～昭和 57 年 3 月
- ⑥. 広報ひがしまつやま 令和 2 年 9 月～令和 2 年 10 月
- ⑦. 保存版 東松山・比企の今昔
- ⑧. 東松山の地名と歴史 岡田潔編
- ⑨. 東松山史資料編第五巻 民俗編 岡田潔編
- ⑩. 東平のあれこれの話 加藤重治編
- ⑪. フリー百科事典ウィキペディア

第 9 章 研究をおえて

B 班は 8 名で橋の名前の由来と交通が地域の発展に如何に親しまれてきたかを調べてみました。2 月に活動をスタートし、グループ編成やテーマの検討に着手しましたが、テーマが決まった途端、コロナ騒ぎでグループとして会うことが出来ず、個々に時間を調整し、マスクをしながら人が多く集まる場所をできるだけ避け、感染に注意しながら現地調査を行いました。電車に乗っていると、川を渡る時などガタン・ゴトンという音を感じながら通過する鉄橋や高速道路等に架かる沢山の橋やアンダーパス、歩行者の安全を優先した歩道橋など市内には沢山の橋がいたるところに架かっています。川に架かる橋を中心に川伝いに足を運び、

目や耳での現地調査や、パソコンや図書館などの資料も活用し調べてきました。今回は活動自粛のなかでの活動ではありましたが、グループ全員の協力で完成することができました。

橋の近くにお住いの皆さんや、ご指導、ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

関越自動車道東松山
インター入り口付近
一般国道 254 号
青鳥小学校前歩道橋
の風景

